2022年度の事業概況

〔今期の業績〕

■預金積金

預金積金残高は、前期比 3,458 百万円増加し、260,576 百万円となりました。要求性預金ではコロナ禍における消費抑制もあり要求性預金全体で 2,542 百万円増加の 124,283 百万円となりました。定期性預金の内、定期預金は個人で 98 百万円増加、法人で 511 百万円増加した結果、前期比 609 百万円増加の 123,303 百万円となりました。定期積金は前期比 305 百万円増加し、12,989 百万円となりました。定期預金、定期積金とも個人の「新理事長就任記念定期預金･定期積金」が好評であったことが増加要因となりました。

■貸出金

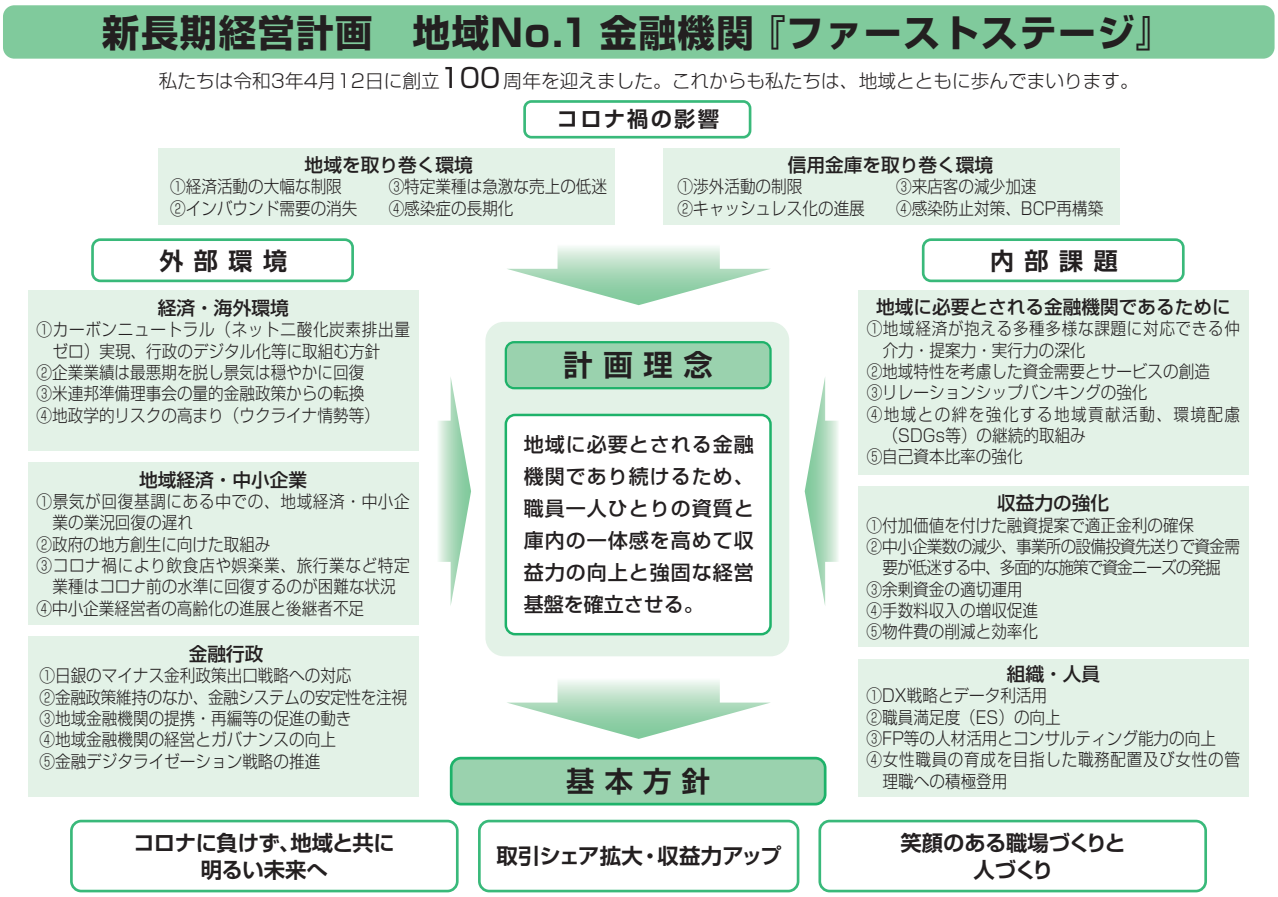
貸出金はコロナ禍で影響を受けた個人事業者や企業を支援すべく、引き続き相談支援活動や地域の資金ニーズに対応した融資を推し進めた結果、貸出金全体では 1,695 百万円増加し、147,480 百万円となりました。主な内訳としては、実質無利子無担保制度の終了や返済開始で信用保証協会保証付き融資は前期比 2,100 百万円減少、賃貸向けビル建築資金「オーナーズローン」「ビルオーナーズ」は前期比 2,855 百万円減少となりましたが、住宅ローンは前期比 5,714 百万円増加、個人ローンも前期比 75 百万円増加となりました。

■収益

経常収益は、役務取引等収益の増加、債券や株式等売却益の増加などにより、前期比 108 百万円増加となりました。経常費用は、債券売却損の減少などにより、前期比 18 百万円の減少となりました。結果として経常利益は、前期比 127 百万円増加し 349 百万円、当期純利益は前期比 28 百万円増加し 185 百万円となりました。

■自己資本比率

自己資本比率は、利益の計上とリスクアセットの減少により、前期の 7.42%を上回る 7.52%となりました。自己資本額では 123 百万円増加し 8,843 百万円となっており、自己資本の充実を図っております。

〔今後の展望および課題〕

当金庫は、今年、創立 102 周年を迎えることができました。これからも地域に必要とされる金融機関であり続けるため、地域密着型金融機関として皆さまに信頼される盤石な経営基盤を構築し、永続性のある経営の確立が課題と考えております。このような課題を踏まえ、2022 年からの長期経営計画のもと「地域№ 1 金融機関」を目指し、皆さまとともに一歩一歩、歩んでまいります。